

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 385 事業名 小児慢性特定疾患事業（児童に対する医療費助成）

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	5	保健医療対策の推進
取組	2	難病対策の普及・啓発

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		母子衛生費
	大事業		母子衛生事業
事項		小児慢性特定疾患治療研究事業	

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	保健対策課	坂東貞次 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
和歌山市にお住まいの小児慢性特定疾患にかかっている18歳未満の方（18歳到達後も引き続き治療が必要な方については、20歳到達まで医療給付の対象となります。）が、適切な医療を受けられるようにするための事業です。 ＜対象疾患＞ 01悪性新生物 05内分泌疾患 09血友病等血 液・免疫疾患 02慢性腎疾患 06膠原病 10神経・筋疾患 03慢性呼吸器疾患 07糖尿病 11慢性消化器疾患 04慢性心疾患 08先天性代謝異常	1、申請により、和歌山市小児慢性特定疾患対策協議会による審査をうけます。 2、基準による認定を受けた後受診券が発行されます。（当該疾病にかかる保険診療のうち、月額・医療機関ごとに自己負担限度額までが自己負担です。ただし同一の医療機関でも歯科については別の医療機関とみなされます。また、同一月・同一医療機関でも、入院と外来を別の期間にした場合、それぞれの一部負担が生じます。同一月で、入院・外来の一部負担金額の合計額が入院の自己負担限度額を超える場合、超えた額について申請に基づき支給されます。（償還払い）院外処方による調剤薬局の薬剤費及び訪問看護については全額公費負担です。） 3、受診券の有効期間は、1年以内です。（有効期間の満了後も引き続き受診券の交付を受けようとするときは、満了1月前までに申請が必要です。）				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	医療を必要とする児童に対して、自己負担を導入しながら医療扶助を実施した	医療を必要とする児童に対して、自己負担を導入しながら医療扶助を実施した	医療を必要とする児童に対して、自己負担を導入しながら医療扶助を実施した		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	56,822	66,993	60,692	69,570	65,985	70,929	83,531				
	伸び率 (%)	-	-	6.8%		8.7%		26.6%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	8,042	9,047	9,047	6,843	6,843	6,886	6,843			
		非常勤職員										
	小計	8,042	9,047	9,047	6,843	6,843	6,886	6,843				
	国庫支出金	28,520	29,226	30,119	30,208	32,740	37,310	40,127				
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源（税等）	28,302	37,767	30,573	39,362	33,245	33,619	43,404					
所要人数	常勤職員	1.05	1.18	1.18	0.91	0.91	0.91	0.91				
	非常勤職員											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	受付件数					年度目標値					
						実績値	295	291	293		
	単位	件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
						年度目標値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度	実績値					
						年度別達成度					
	成果指標	医療受給券交付数					年度目標値	350	350	350	350
							実績値	292	282	289	
		単位	人	全体目標値	350	全体目標達成度	81.4%	年度別達成度	83.4%	80.5%	82.5%
年度目標値											
単位			全体目標値		全体目標達成度		実績値				
							年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	A
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	国の補助事業であり、現状の医療給付を継続する。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	